

日本医師事務作業補助研究会
第 11 回広島地方会 活動報告書

テーマ：書類「実務につながる知識を深めよう！」

2021 年 7 月 11 日（日） 13：25～16：30

オンライン会議システム Zoom 使用

講演①「普段は聞けない生命保険診断書のあれこれ」

札幌マタニティ・ウイメンズホスピタル

日本医師事務作業補助研究会 北海道支部 支部長 内山 求未 様

講演②「交通事故における後遺障害診断書の重要性」

橋本行政書士事務所 東京都行政書士会 練馬支部 支部長 橋本 敏浩 様

7 月 11 日、オンラインにて第 11 回広島地方会を開催しました。

はじめに、社会医療法人社団沼南会会長 兼 沼隈病院院長 檜谷 義美先生よりご挨拶いただき、開会となりました。

今回は参加者アンケートでも要望の多い書類をテーマとして取り上げ、生命保険診断書と後遺障害診断書についてお 2 人よりご講演いただきました。

内山様より生命保険の仕組みと契約についてご講演いただきました。生命保険の基本的な仕組みから、生命保険診断書記入の必須項目となぜ必須なのかというところまで詳しくご説明いただきました。生命保険は身近なものですが仕組みについては理解していないことも多く、貴重な機会であったと思います。

次に、行政書士の橋本様より後遺障害診断書についてご講演いただきました。実際の診断書を用いて具体的に記載方法について解説いただき、業務に活かせるお話で大変勉強になりました。お 2 人とも講演の後に質疑応答の時間を設けましたが、想定を超える多くの質問が寄せられ、時間の許す限り丁寧に回答していただきました。

今回の地方会では全国から 112 名と多数のご参加をいただきました。初めての Zoom ウェビナー使用で運営側も試行錯誤しながらの開催となり、至らない点もあったかと思えます。地方会にご参加いただきました皆様、開催にご協力いただきました関係者の皆様に感謝申し上げます。広島県支部では今後も定期的に地方会を開催し、実務者のスキルアップにつながるような内容を企画していきたいと思えます。

報告者：広島県支部 支部長 脳神経センター大田記念病院 小川 優子